

## 「ハイテク探して、テクテクと」の巻

以前からアメリカの視覚障害者が利用するハイテク環境に興味があったので、いろいろと調べてみました。

サンフランシスコにあるローズ・レスニック・ライトハウスには、音声機器を利用してのMS-DOSなどの講習が行われていました。外国人でも無料でそのコースに参加できたのですが、時間の関係で、残念ながらそれには参加できませんでした。ただ、機械を貯めこんでいるだけの施設ではなく、外国人であっても講習に参加できるような、オープンな施設作りには感心しました。日本の施設が閉鎖的すぎるだけなのかもしれません。

関心があったのは音声装置の質や種類、読書機、そして視覚障害者にとってのウィンドウズの世界です。音声装置は、日本では7・8種類しか販売されていませんが、アメリカでは20種類以上が存在するとか。当然ながら日本語には対応しておらず、主に英語専用機だそうですが、いくつかの機種はドイツ語やフランス語などにもソフト次第で対応するそうです。量だけでなく、質も日本のものと違ってかなり高い印象でした。デスク・トークは最も肉声に近い優れものです。また、携帯可能な装置もいくつかありました。カセットテープのケース大で電池駆動のものや、カード・スロット内蔵型など。カード・タイプなんてぜいたくなことは言わないから、日本語対応でノート・パソコンとセットで持ち運ぶことのできる装置が早くできないかなあ。

読書機にはカーツワイルのように単体でプリントされた文書を読ませるものと、アーカンストンのようにパソコンにスキャナーを接続させて使うものがありました。カーツワイルの最新機であるリーディング・エッジの価格は5,800ドル、アーカンストンのシステムはそれ以下です。性能はどちらも同等という評判でした。どちらもスペイン語やドイツ語など7種類の言語に、ソフトの交換で対応できるそうです。

マッキントッシュのマシンにも興味がありました。パークリー・システムという会社からは『アウト・スポークン』という音声化ソフトが発売されています。マウスを使って、画面上のアイコンを読ませるようですが、実際に使用した人に聞くと、かなり面倒だそうで、使いこなすには時間がかかるようです。また、パークリーにはBMUC（パークリー・マッキントッシュ・ユーザーズ・クラブ）という組織がありました。この中のボランティア・グループの一つに、視覚障害者にMACを使ってワープロ等の講習を行っているものがあるということでしたが、残念ながら見学することはできませんでした。話によると、『マッキン・トーク』というフリーウェアを利用して音声化させるとのことでした。

日本よりも視覚障害者のハイテク環境が進んでいるアメリカでは、音声や点字の出力で、自由にウィンドウズが使える環境になっていると思っていたのですが、そうではありませんでした。MS-Windows用の音声化ソフトはいくつか販売されているそうなのですが、どれも実用的なレベルには達していないとのことでした。ほとんどのパソコン・ユーザーは、IBM-PCでDOSのアプリケーションを使っているようです。近々、カナダのある会社が『ウィンドウ・ブリッジ』のバージョン・アップを、パークリーシステムが『アウト・スポークン・フォア・ウィンドウズ』を発売するとのことでした。

パソコン通信に関しては、ほとんどの学生がインターネットを利用しています。利用料金が無料というのが大きな原因でしょう。

最後に忘れられないのは、銀行のCD機です。日本ではほとんどがタッチ・パネル方式に変わってしまいましたが、パークリーではプッシュ式しか見ませんでした。画面が見えなくても一人で使えたので、とても便利です。

## 相談事業

プロップでは、障害を持つ人や、そのご家族からの自立に関する様々なご相談をお受けします。お電話、来所による面談、いずれも無料です。お気軽にどうぞ。

## 「春が来た」の巻

3月にもなると、20℃を越える日が続くようになり、Tシャツ姿の人達をちらほらと見かけるようになりました。すでにクラス・メイトの何人かは帰国し、同じ寮に住んでいた友達の数人も引越しをしてしまって、寂しい季節になっていました。

今思うと、あの2ヶ月間はとても長い時間だったように感じられます。期待と不安、そして緊張感の中で日々の生活を送っていたからでしょうか。短い間でしたが、自分ならではの経験ができ、自分には珍しく充実した時間の使い方ができたと感じています。

その間、何のトラブルにも巻き込まれなかったことは、とてもラッキーでした。地下鉄の駅ではひったくりや殺人事件が相次ぎ、夜の町からはガン・ショットの乾いた音が聞こえてきます。UCBのキャンパスも夜になると無法地帯に化してしまうとか。アメリカ人のジョンは、陽が沈むと一人では町を出歩かないと言います。いつも危険に身をさらしているつもりでないと生きていけないのだろうと感じました。



今回のステイは、良い友人と好運に恵まれたものとなりました。そして、その間、僕の心をなごませてくれたものは、アフリカン・バイオレットのシクラメンでした。パークリーには花屋が多く、思わず手に入れたものです。残念ながら、町を離れる時に別れてしまいましたが・・・。それぞれに対して感謝せねば! 「ありがとう」。

(完)

## 機関誌「FLANKER」の発行

ブロップでは機関誌「FLANKER」(フランクカー)を季刊で発行しています。A4版。毎号約60ページ。絵本作家で、CD絵本も出版された「鈴木純子さん」の絵が、毎号カラーで表紙に登場。とってもおしゃれな機関誌ですよ(^)。頸髄に損傷を持つ桜井龍一郎が、ベッドの上から編集長として采配をふるっています。

「FLANKER」は、パソコンで編集会議、校正、レイアウトなどを行って制作されています。ぜひ、ご一読下さい。

また、「FLANKER」の点訳版は、全国のプリンティングセンターでお申し込みいただけます。そのほか、ブロップ・ネットを中心に、その他のパソコンネットでの転載、再配布も行っています。

## 機関誌「FLANKER」原稿募集

FLANKER読者の皆様からのご意見・ご感想・情報提供・写真・イラスト等、広く文章・情報・資料を募集しております。

## 「FLANKER」編集・発送作業ボランティア募集

通信で原稿の打ち込みや校正のお手伝いをし下さる方。あちこちに取材に行つて下さる方。MACやウィンドウズでDTPのできる方。イラストやカットの得意な方。レイアウトに詳しい方。こんな方がおられましたら、編集員としてぜひ活躍して下さい。通信のできるボランティアの編集員さんも募集中です。発送作業も「発送オフ」とも呼ばれる、楽しい集いですよ(^)。

# 観<sup>みて</sup>食<sup>たべ</sup>歩<sup>あるき</sup>記

TAKARAZUKA  
宝塚

梅雨の真っ只中というのにカンカン照りのよいお天気に恵まれすぎた6月末の日曜日。前回と同じメンバーで宝塚に新しくできた「手塚治記念館」をメインに、阪急宝塚駅周辺をぶらぶら食べ歩いてきました。さて、今回はどうなることやら。。。 (なで)

え～、私が参加するようになって2度目の食べ歩記、今回も車いすのアクセスを中心に調べてきました。(げんた)

## きれいになった～阪急宝塚駅

この前、宝塚に来たのはいつだったっけ？長い間、駅の改修工事をしていて、“暗い、狭い、天井低い”のイメージしかなかったけれど、ずいぶんごおさたしている間になんと明るく、きれいになったことでしょう!!改札を出るとそこはもう阪急百貨店の入口(2階)に直結してる。また、たくさん専門店が集まったショッピングゾーン、「ソリオ」にも雨に濡れずにアクセス可能です。

今回もお約束どおり、集合場所の改札口に10分前に集合した私！我ながら“よくやった！”(あたりまえのことやろ～とお叱りの声が聞こえてきそう。。。) (なで)

叱りはせんが、不思議じゃ～。と、その話はこっちに置いて、阪急宝塚駅、以前は地上駅でしたが、今は改札は2F、ホームは3F。車両への乗り降りには、駅員がアルミ板を置いてくれます。「ホーム」←→「改札」は専用エレベータ、「改札」←→「地上」は2機の専用エレベータのほかに、隣接する阪急百貨店を通り抜けてソリオ1に入り、ここにある2機のエレベータでも行けます。なお、左側の1機は車いす対応でした。専用エレベータで地上に出たため、裏側(JR宝塚駅側)に出てしまった3人でしたが、地下に出るとソリオ1正面に行けます。(げんた)

## タカラヅカ歌劇のお膝元

いつものとおりお昼前に集合し、まずはぶら～っと駅周辺をチェック。阪急百貨店、ソリオ以外にGコレクションという、こちらも専門店街みたいなところもありましたが、婦人服、婦人靴がほとんどでした(15店舗くらい)。インフォメーション・プラザと名前のとおり、いろんな案内をしてくれるところもちゃんとあって、迷子になっても安心(?)です。

ソリオはソリオ1・2・3・ソリオきた・建設中のソリオ4、とありましたが、今回訪れたのは専門店が入っているソリオ1。地下1階、地上3階の建物の真ん中は、<sup>はやり</sup>流行の吹抜け構造になっていて、ゆったり、広々とした感じです。全体の色調も淡いクリーム色で、前回行ったハーバーランドの阪急百貨店となんとなく似た感じになりました。デザイナーが同じなのか、今の流行なのか??

ソリオ1の3階には宝塚市役所の出張所があり、お買物のついでにちょっと寄れるというのは便利でしょうね。また、宝塚歌劇のお膝元のせいとか、宝塚市立の文化施設ソリオホール（広さ380㎡、300席）や5つの貸会議室もあり、文化活動には相当力を入れてるなっていうのがひしひしと伝わってくる、充実したフロアになってます。

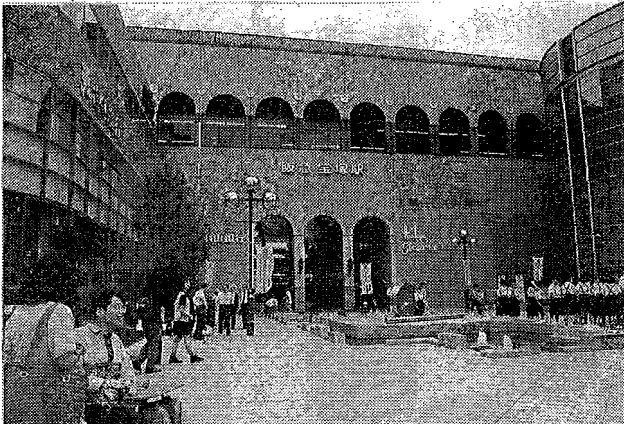
ソリオ1・2・3には企業のオフィスや住宅、そしてホテルまであって、うらやましい限りです。駅のホームから徒歩3分!って感じでしょうか？ソリオ3に住んで、ソリオ2にある会社に行く。私の理想かもしれない。。。(なで)

内部は平坦、上下移動はエレベータで大丈夫。ここに限らず、どこでも大抵そうですが、店舗の出入口の重い手動扉がちょっと不便。(げんた)

## ダブル・ランチ！？

お昼で混む前に食べようと12時前にランチしました。宝塚のことならなんでもこい！の我がらがうめ吉氏のお勧め情報により、阪急百貨店2階にある「収穫祭」へ行ってきました。

ランチタイム（11時～2時）はメインディッシュがステーキまたはなすびのグラタンの2種類のランチメニューしかないようでした。しかし、ボリューム満点、リーズナブル、それになんといっても大きな窓からの明るい日差しを取り入れた店内のよい雰囲気。私好みのお店でした。



きれいになった宝塚駅前

1時間くらいかけてゆっくりランチしましたが、手塚治虫記念館へ行くにはまだ早いようなので、うめ吉情報第2弾！お茶をするなら、「アフタヌーンティールーム」の指示に従い、食後のお茶を求めて1階へ。階は違ってはいたけれど、同じ位置にあったアフタヌーンティールーム。やはり、大きな窓から明るい光が差し込んで、デートにはもってこいの雰囲気どおり、カップルが多かったなあ。しかし、窓ざわだったためか、はっきりいって暑かった！！それなのに、ホットのロイヤルミルクティーを頼んでしまった私。さらに、せっかくきたんだから、ここはブリテッシュスタイルにひたらなあかん、などとおなか満腹状態だったにもかかわらず、スコーンをプラスアルファしてしまったのです。KUIIやんでさえ、アイスコーヒーにプリンというかわい組み合わせだったのに。げんちゃんに至ってはホットティーのみ。普通はこうなんかなあ？食い意地はりすぎ!?生クリームたっぷりにブルーベリージャム。2回目のランチという感じで死にそうになりながらも平らげてしまう私っていったい。。。(なで)

私ゃ小食なのよ。気にせんと好きなもん食べてや。収穫祭、アフタヌーン・ティー・ルームともに店内には段差なく入れます。(げんた)



手塚治虫記念館 外観

## どうして宝塚に手塚治虫記念館？

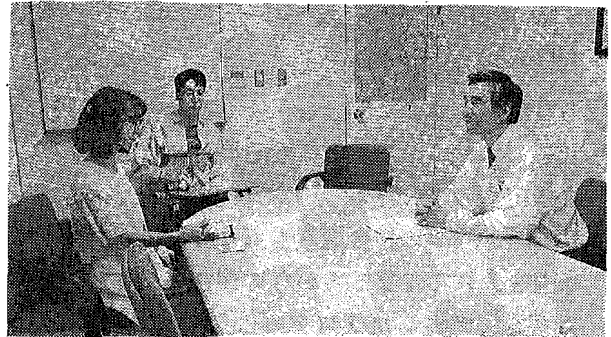
ソリオ1から「花の道」に入り、宝塚大浴場、宝塚歌劇、宝塚ファミリーランドの前を通り過ぎ、しばらく行くと手塚治虫記念館に到着します。が、一段高い所にある、いわゆる「花の道」を通ると途中段差があるので、車いすは併走する一般道路を通った方がいいでしょう。(げんた)

お約束の時間にそれでも少々早めに到着。入口にはハリウッドのチャイニーズシアター風にキャラクターの手形・足型がブロックに埋め込まれており、わくわくムード満点!!入口入ってすぐに受付で取材の旨を告げると、地階の事務所に案内された。とにかく、給料日後の日曜日ということもあって、館内は大人や子供でごったがえっていました。

今回、お話を聞かせてくださったのは、館長の山下稔氏。まず、手塚治虫記念館が宝塚にできた背景について話していただきました。

故・手塚治虫氏は5歳から24歳までの成長期を宝塚駅から山手に5分くらい登った閑静な住宅地の御殿山<sup>ごてんやま</sup>で過ごしていたのです。すぐ裏手には森あり、池ありと自然豊かな環境の中、昆虫採集をしていくうちに自然、生命の大切さを感じとっていったようです。さらに、自身の戦争体験が手塚作品のバックグラウンドにあるようで、人間どうしの殺し合いがいかに無意味なものであるか、多くの作品で訴えています。また、宝塚歌劇から男性・女性を一体化する考えが芽生えたようです。このように宝塚での生活体験が手塚思想をはぐくんだという背景から、足掛け5年の歳月を経て、今年4月25日宝塚に手塚治虫記念館がオープンしました。初期の作品である、鉄腕アトムも実は宝塚で生まれたものなのです。(なで)

記念館内部は平坦。エレベータで各階に行けます。車いす用トイレは1Fにあります。(げんた)



山下館長(右)とげんた(中央)&なで(左)

## 人気のコーナーは？

記念館はG階(地下1階)にアニメ工房、アニメ制作機などがあり、ここで自分の描いたまんがをアニメのように動かすことができます。宝塚ファミリーランドへの出入口もあります。1階には常設展示室、アトムビジョン(映像ホール)などがあります。常設展示のケースは「火の鳥」に出てくる生命維持装置をイメージして作られたそうです。2階には企画展示室、手塚治虫ライブラリー、単行本展示棚(500冊)、情報・アニメ検索機、ミュージアムショップなどがあります。企画展示室では、初期の作品から最近に至るまで、ものすごい数の原画が展示されていました。

人気のコーナーは、アニメ検索機(60作品を検索可能)とライブラリーのコーナーです。ライブラリーでは手塚氏の全作品1,200冊を自由に閲覧することができます。

マニアの人達には入口入ってすぐの常設展示コーナーがうけているようです。

館長のお勧めコーナーはアトムビジョン。ここでしか見ることのできない18分のオリジナルアニメが、130インチのハイビジョン・スクリーンで放映されています。多くのお客さんが次の放映のために、ずらーっと長い列を作っておられ、人気のほどが伺えました。(なで)

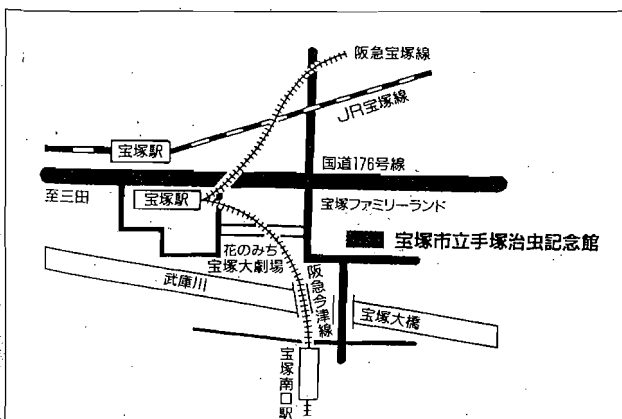
## みんなででかけよう！

一日平均入場者数は、平日で1,000人、日曜祝日ではなんと3,500～4,000人！約8割は大人が占めているというのにはちょっとビックリ。でも、手塚氏の活動が1940～1980年後半であることを考えれば、納得ですね。

また休館日がユニークで、毎週水曜日となっていますが、祝日と重なる日は開館しています。年末は12月21日～31日まで。お正月はなんと元旦からオープンしているんです（その他、臨時に休館する場合があります）。開館時間は午前9時30分～午後5時で、入館は閉館時間の30分前までです。

館内に食事をするところがないのは残念でしたが、スペースのことを考えれば、レストランより手塚氏の作品をちょっとでも多く見たいものね。（なで）

入館料は、個人の大人500円、学生（中学・高校生）300円、小人（小学生）100円ですが、障害者と介護人は無料。介護人は、障害者が必要とする人数は全員無料になるのが画期的です。さすがに人気の手塚治虫記念館、日曜日の館内は満員で、車いすでの移動は大変でした。できれば平日に訪れるのをお勧めします。（げんた）



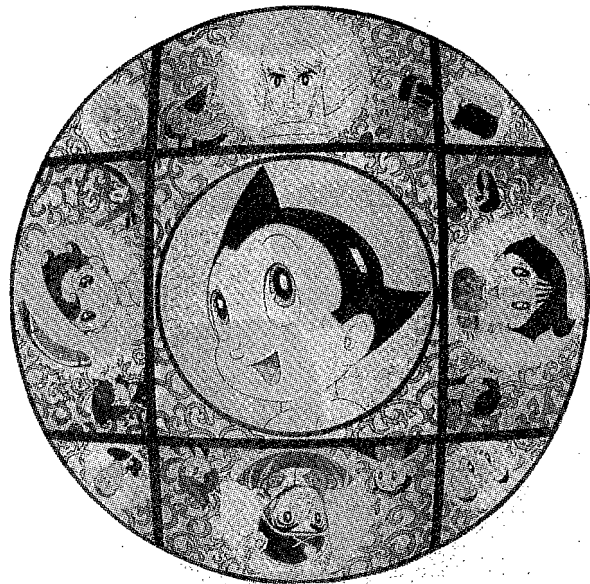
### 宝塚市立手塚治虫記念館

〒665 兵庫県宝塚市武庫川町7-65

TEL.0797-81-2970 FAX.0797-81-3660

## 「先見性」と「普遍性」

最後に山下さんに手塚氏の魅力を伺いました。ちょっとお考えになった後、「先見性」と「不遍性」の2つを挙げてくださいました。少年時代から自分の中で未来像を持っており、その未来像が今の、そして今後の未来とかなり一致しているという「先見性」。人と自然との共生ということとは1970年代から叫ばれてきましたが、それ以前から手塚氏はこのことを重要視しており、この辺は先見性とも言えるかもしれませんが、同時に変わることのない大切さ、「不偏性」を見抜く力といったところでしょうか？さらに「やさしさ」「暖かさ」も手塚氏から感じられると付け加えて頂きました。（なで）



- JR・阪急「宝塚」駅下車  
花のみちを徒歩約5分
- 阪急「宝塚南口」駅下車  
宝塚大橋を渡り徒歩約3分
- 専用駐車場はありません。  
周辺有料駐車場をご利用ください。

# プロップ・ネットの話題から '94 AUTUMN VERSION

前回の記事を書いてからプロップ・ネットにもいろんなことがありました。そこで、この間の出来事をニュース・レター風にまとめてみました。

## インターネットのドメイン名を取得

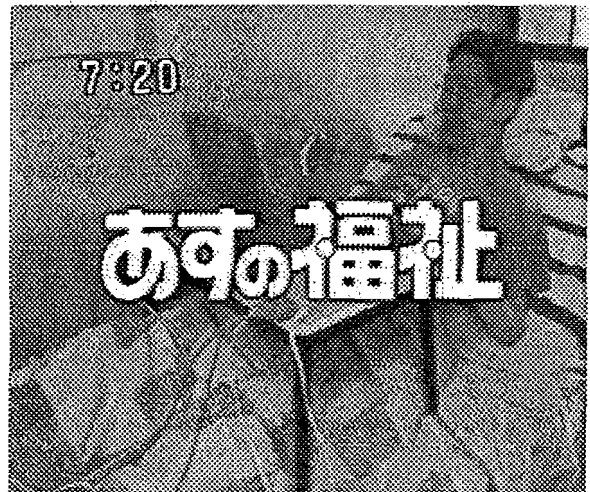
7月も終わりの暑い盛り、ビッグ・ニュースが飛び込んできました。今、巷で話題になっているインターネットのドメイン名をプロップ・ステーションが取得したのです。そのドメイン名とは“prop.or.jp”です。8月初めには日本電子計算株式会社からUNIXマシンを御寄付いただくことも決まり、このマシンのドメイン名は“propgw.prop.or.jp”（gwはgatewayのこと）になりました。

このことがなぜビッグ・ニュースなのかは、インターネットが何物かを知らない人には理解できないかも知れません。そこで、次の記事でインターネットについて説明していただいていますので、それをお読みください。尚、記事の執筆者である大阪大学通信工学科の中野秀男助教授にはプロップ・ステーションがインターネットに加盟するために御尽力いただきました。

プロップ・ステーションでは、インターネットへの接続テストを終えた上で、世界に情報発信をしていき、また一方で、プロップ・ネットをインターネットへ接続する方法を模索しています。



私がHOSTうめ吉です



げんた編集長オープニングに登場

## テレビで全国ネットに登場！

プロップ・ネットがNHK教育テレビの「あすの福祉」で取り上げられました。「障害者とパソコン通信」というテーマで、プロップ・ネットを中心にプロップ・ステーションの活動全般が漏れなく紹介されていました。登場したのは、ナミねえ、げんた、みゆう、あに、うめ吉で、それ以外のプロップ・ネット関係者もいたところでカメラに収まっていたようです。ちょっとしたアクシデントで、ナミねえがチャットで語る「プロップ・ネットの今後の課題と展望」については集録されませんでした。7月28日の本放送、8月1日の再放送の後では事務局にかなりの反響が寄せられ、ユーザーも急激に増えています。

## ○シフト・ロック・ツールを作ろう

(B01.フリートーク B36.WINDOWSの部屋)

以前から「WINDOWS用の便利なシフト・ロック・ツールがない」ということが話題になっていましたが、4月3日にプロップ・ステーションが主催しておこなった「トーク/コンピュータがひらく自立支援」を契機にさらに盛り上がりました。そこに、フリー・ソフト・ウェアでWINDOWS用のシフト・ロック・ツールを作っておられる抹茶さんが登場。ライブラリに試作品をアップロードしていただき、WINDOWSユーザーにその使用感などを書いてもらって、さらに使い勝手のいいものを開発中だそうです。

## ○オフミは花盛り

(B04.アイデア企画室(当時))

B22.FLANKER 言いたい放題 他)

オフミ(オフ・ライン・ミーティング)はパソコン通信の楽しみのひとつでもあります。ハンドルでしか知らないもの同士が顔を付きあわせて話をすると、恋の花咲くこともある・・・かもよ。  
f^^;

4月9日、VANGUARD!主催のスラッシュくんアメリカ留学帰国歓迎オフミ開催。

4月10日、プロップ・ネットのユーザー有志で計画されたバーベキュー・オフミ。尼崎市の武庫川河川敷で開催。過去最大規模のオフミとなったようです。

5月28日、FLANKER編集部主催のFLANKER9号発送作業オフミ。オフミとは名ばかりで肉体労働が主。NMC(情報倉庫西宮)からも多数参加がありました。当然のことながら、この10号がみなさんのお手元に届く直前に、この重労働オフミがもう一度行われているということです。おやつ付き f^^;

6月5日、Ladies' オフミ。女性ユーザーが多いのもプロップ・ネットの特徴です \*^^\*。

7月10日、アメリカ合衆国ニュージャージー州から遥々アクセスしていただいているコンピュータ・エンジニア Billy Ichida さんの一時帰国を歓迎するオフミを開催。「あすの福祉」でも放映。プロップ・ネット主催。

## ○メロンパンはどれが本物?

(B25.VANGUARD!(視覚障害部))

5月26日、京愛さんが何気なく書いた「メロンパンが好き」という一言に端を発したメロンパン論争。メロンパンの形態、内包物、味にいたるまで、プロップ・ネットのユーザーを二分する大論争にまで発展しました。しかし、6月26日、スラッシュくんの見事なまとめにより、一カ月にわたる真剣な爆笑論争は終結したのです。詳しくはB25.VANGUARD!(視覚障害部)でお楽しみください。

### プロップ・ネットの運営

プロップ・ステーションは、独自の通信網「プロップ・ネット」を持っています。06-882-5393がアクセス番号。GUESTでのぞいていただけます。14400BPS対応で、24時間オープンです。プロップ・ステーションの会員の皆様には、交流、情報交換、情報発信など自由に使っていただけます。コンピュータ・セミナーのフォローアップにも活用中。プロップ・ステーションでは、このNETを通じて役員会、運営委員会、編集会議なども行っています。HOSTは役員で頸損の坂上正司が務めます。

プロップ・ネットは、大阪大学通信工学科助教授・中野秀男先生のご協力により、インターネットとの接続を計画中です。中野先生はハンドル「WINC」。インターネットWINCの主宰者でもあります。

### NETメンバーの募集

プロップ・ネットで、障害を持つ人達とのおしゃべりを希望する方、コンピュータの知識を提供して下さる方、色んな情報を提供して下さる方を募集中。GUESTアクセスでのぞいてみてね。

メインコマンドで「S」と入れるとサインアップが始まり、即時IDを発行します。書き込みは、会員であることが原則。でも、しばらく付き合ってみて、気に入ったら入会、という手もOKです(f^^)



## ○ボード構成を一部変更

ユーザーの皆さんの意見を取入れてボードの構成を下記の通り変更しました。B16のAccessはまころいすボードは情報・データベースとしてのプロップ・ネットに必要ということでユーザーボードから移動しました（地の声：我田引水）。従来のUB010のメッセージ及び内容はそのまま継続しています。

(変更前)

02.書き込み練習	新人挨拶、書込練習、マクロのテストなどに使用
04.アイデア企画室	プロップの活動に対するアイデア、オフミの企画
31.パソコン初心者Q & A	パソコン初心者の質問コーナー、機種依存はしない
37.J31,X68,TOWNS等	上記以外のパソコンまたはOSのUserのトーク・ルーム

(変更後)

02.書き込み練習	[変更] 書込練習、マクロのテストなどに使用
04.オフミせ〜へんか?	[変更] オフ・ライン・ミーティング企画
05.はじめまして	[新設] 新人さんのごあいさつ&歓迎ミニ・トーク
16.Accessはまころいす	[新設] 車いす利用者や関係者の駅や建物のアクセス情報の交換
31.パソコン・ワープロ Q & A	[変更] どんな機種のどんなことでも初心者から上級者まで
37.	[廃止]

## ○新しいライブリ登場

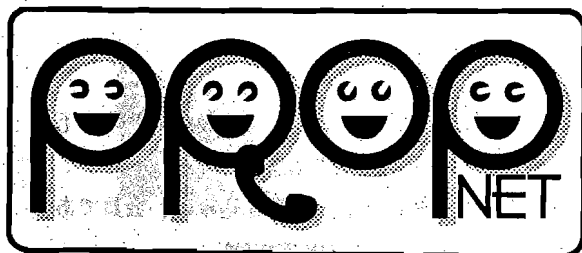
この度、みゅうひとりのわがまま (fM;) によって増設することになった2つを含め、計3つのライブリを増設することになりました。以下に紹介します。

26.視覚障害者用 Tools	視覚障害者用の各種ツールや点字ツールの専用ライブリ
36.VANGUARD!(視覚障害部)	視覚障害者関連のデータやVANGUARD!の活動データの交換用
35.なんでも福祉情報	福祉関係の情報で量が多いものや白書、法律など

## ○続々登場 User Board

ユーザーボードは、ユーザーなら誰でも開設できるボードです。各ユーザーの趣味や興味のある話題をテーマにしています。5月以後新しいユーザーボードが続々と産声を上げましたので、新しいものだけまとめて簡単に紹介します。

No.	User Board Name	Board Operator	内容
027.	やまちゃんと桐ギリス	ann	不明 オベに訊いてくれ〜
050.	きれいになりたい!!!	Angela Mitchell	きれいになりたい女性、集れ〜
118.	こっちが好き!	かけちゃん	二者択一、おもしろディベート
167.	青森自立支援コーナー	オリンパス	施設はいや! 青森に当事者団体を!
180.	直木賞は貰った!	あに	未発表小説で直木賞を狙おう!
185.	C I N E M A !	にこちゃん	映画のことなら何でもこい



※ プロップ・ネットでは、この9月に試験運用開始2周年を迎えるのと、インターネットとの関わりができたことを機に、規約を整備しました。詳しくはB12をごらん下さい。(うめ吉)

# 暮らしを変えるインターネット

## 特別寄稿

大阪大学 工学部通信工学科助教授  
中野 秀男

今、我々の生活になくてはならないもののひとつに電話やFAXがあります。本当は別になくっても生活はできるのですが、ちょっと誰かに連絡をしたいとか、お喋りを気軽にしたいと思った時には便利ですね。電話も昔からあるわけではなくて、昔は手紙などしかなかったわけです。電話の便利なところは顔を合わせなくとも話ができることで、まあ距離を越えて会話ができることですね。FAXは電話の欠点である「居ないと話せない」「記録が残りにくい」の2点をカバーしているのでこれまた便利に使えます。電話の悪い点で案外気付かれてないのが、「電話は仕事の邪魔をする」点です。せっかく仕事等に集中していても電話はいや応なしにかかってきますから、優秀な秘書さんがうまく対応してくれなければ、電話のよく掛かる昼間などはまとまった仕事ができないこととなります。

最近、「電子メール」という言葉をいろいろな雑誌や新聞などで見かけるようになりました。私も7年前からこの電子メールを使っています。我々の分野では郵政省がやっている電子郵便と区別する意味で「Eメール」という表現をしています。その意味では通常の手紙は「郵政メール」などと呼んでいます。このEメールは幾つかの点で電話の機能を凌駕しています。記録が残ったり、相手がいないとも届く点ではFAXと同じなのですが、これを扱う装置が多機能といいながら、そんなに便利な機能がない電話やFAXではなく、計算機であるという点です。計算機ですから扱えることは基本的には無限にあると思ってもらってよいでしょう。電話もFAXも便利になっていますが、

それらも私から見れば中身は計算機に近付いているわけで、利用者から見ると電話やFAXにしか見えません。駅の券売機や缶ビールの自動販売機もそうです。中には立派に計算機が入っています。その意味では家庭にある電子レンジや炊飯器もりっぱな計算機です。

この頃、新聞に「情報ハイウェイ」とか「各家庭に光ファイバーを(Fiber to the Home)」と書かれた記事が出ています。政治的な意味や技術的な意味について書けばきりがないので、ここでは利用者から見てどのようになるのか考えてみます。とは言っても、技術を何も述べないのは難しいのでポイントだけを述べてみましょう。技術的には2点あります。1つは最初に話をしたように、電話やFAX、券売機、自動販売機、電子レンジには計算機が入っているということです。2番目は計算機の間で通信をすることが結構簡単な技術になってきたことです。企業や大学などの組織の計算機と、家庭にある家電製品（の中にある計算機）と町にあるいろんな装置（の中にある計算機）が通信を始めれば、どんな世の中になるかが、これからのことを考える点でポイントになります。

計算機っていったって、今はファミコンでもりっぱな計算機です（ちょっと昔の計算機よりはずっと高機能です）、計算機といえばキーボードがあって、そのキーボードが大変と思われがちですが、銀行の自動振込機の方がずっと難しいと私は思っています。ただ、音や映像を扱うには性能がいい計算機が必要になります。特に動く画像（動画）を扱うには、高性能のコンピュータと大